

中期財政見通しを作成しました

平成23年度中期財政見通し

市では、財政運営の一つの指標として、毎年度当初予算編成後に中期財政見通しを作成して、市民の皆さんにお知らせしています。

中期財政見通しは、境港市の財政運営方針を定めた中期財政計画（平成19年策定）の一部で、比較的近い未来の財政推計を行うことで財政運営上の課題等を明らかにする役割を担っています。

推計方法は、中期財政計画の運営方針をベースに、これまでの傾向と直近の当初予算を基礎として、「義務教育施設の改修」などの大型事業の現時点での計画数値を具体的に盛り込んで将来値を推計しています。

●条件

◆基礎数値 平成23年度当初予算

◆期間 平成24～28年度

◆会計区分 一般会計

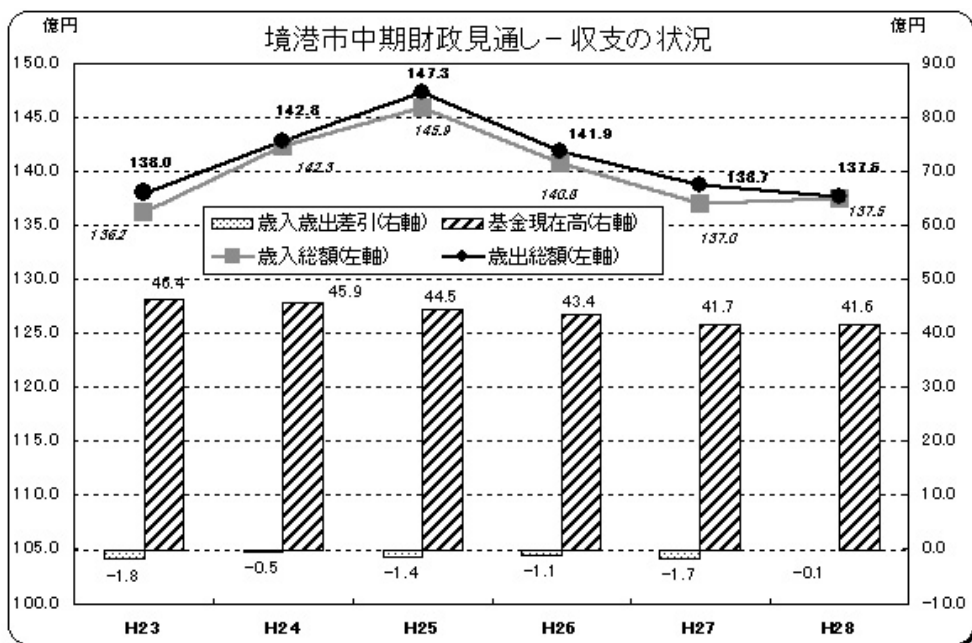
●推計の結果

第二中学校の改築などの大型事業が集中する平成24年度から26年度までは歳入・歳出ともに今年度 비해 大幅に増加する見込みとなっていますが、収支の状況は、いずれも今年度の財源不足（赤字）額程度であることから、これまでの基金（貯金）残高を考慮すると、財政運営上は特に問題のないレベルであり、収支はほぼ均衡している状況であると考えています。

また、義務教育施設の改修などの大型事業の計画数値を反映させた上でも、今後の公債費（借金返済額）は年々減少していくことから、後年度の社会保障関係費の自然増分を吸収でき、歳出構造の転換が図られる見込みとなっています。このことにより、将来的には一定規模の投資事業費を見込んだ上でも歳入に見合った財政運営が可能となる見込みとなっています。

※この推計は、平成23年度の当初予算を基礎として、現時点での制度が継続すると想定して推計していることから、今後、東日本大震災の影響などによる国などの動向により大きく変動する可能性があります。

◎問合せ先 財政課財政係（☎47・1011）



さがいみなとの



コットンサミット

5月21日に大阪府岸和田市で、「2011全国コットンサミット 岸和田」が開催されました。このサミットは、全国各地で綿を栽培する団体、グループが一堂に会して交流を図り、国内で綿栽培の輪を広げることを目指して開催され、綿栽培の北限を超えた北海道でハウス栽培されているグループ等からも参加があり、栽培地の広がりを目の当たりにしました。

境港市は、復活栽培に取組む「伯州綿」栽培について事例発表しました。各地の多くの取組みが洋綿栽培の中で、境港市の在来種にこだわった大規模栽培の取組みは注目を浴びました。サミット会場では、各地で栽培された綿を使った製品の展示もあり、各地自慢の「逸品」が披露されました。

境港市からは、伯州綿100%で製作した「赤ちゃん製品」と「タオルマフラー」等の展示を行いました。来場者からは、「どこで販売しているのか」と

いうお問合せをいただくなど、消費者には伯州綿の良さが伝わる展示内容になり、今年度からの本格販売に向けての手応えを感じる事ができました。

この全国コットンサミットは、来年は境港市での開催が予定されています。

「伯州綿」は、ようやく栽培の目的が立った状態であり、商品販売や販路開拓の道筋はまだまだ容易なものではありませんが、かつて先人が天然の河川のない焼き畑という悪条件の中で大変な苦勞の末、北前船で全国に「伯州綿」を広めたように、今後はさらに多くの人に「伯州綿」に親しんでいただく環境を整備して、PRに力を入れ、来年のサミット本番に向けて機運を盛り上げ、全国コットンサミットを通して伯州綿ブランド復活の取組みを全国に発信していきたいと考えています。



伯州綿